

## 「全鍍連」 2022年 5月号 理事長のよこがお

石川県鍍金工業組合 中島 秀明 (中島メッキ工業(株) 代表取締役)

「理事長のよこがお」



石川県鍍金工業組合の理事長を仰せつかっています中島です。コロナ禍の状況が2年経った今まだなお大勢のコロナウイルス感染症に悩まされてる方々、そして残念にも亡くなられた方々にお見舞いとお悔やみ申し上げます。

さて、現在の国内外を取り巻く状況をみれば円相場は利上げを加速される米国と金融緩和策を崩さない日本との金利差が拡大するとの観点から、円を売ってドルを買う動きが急速に進み1ドル121円台を付けました。約6年ぶりの円安ドル高水準です。

輸出企業にとっては収益拡大に繋がりますが、私達メッキ業界は100%と言っていいくらい地金や薬品を輸入に頼っている私達は負担が重くのしかかり、収益が圧迫されます。

さらに、ロシアのウクライナ侵攻で原油価格も高騰し電気料金の値上げも懸念され石川県内のレギュラーガソリンは1ℓ160円が180円前後に迫る勢いです。戦争前から上がりつつありましたが、さらなる高騰です。

ロシアが主権国家のウクライナを一法的に侵略し、服従しないからと言って敵対するはずもない赤ちゃん、子ども、老人から全ての庶民を見境なく、空からの爆弾と戦車の砲弾とそしてミサイルでむごたらしく殺害している。

そのために、ロシアの原油と天然ガスをこれまでと同じく世界で流通させる訳にいけなくなり、輸入禁止まではいかない日本のような国でも、身近なエネルギー価格に異変が起きたようです。

同じ民族同士が戦争をしてる事、事態が到底理解できません。毎日のニュースで放映されてる映像を観るたびに心が痛み、独裁主義の怖さを痛感させられました。早期の戦争終結を願うばかりです。

ここで話題を変えて、6月3日(金)から5日(日)まで開催される石川県金沢市の一大イベントであります「第71回金沢百万石まつり」のご紹介をいたしたいと思います。

金沢百万石まつりは、加賀藩祖 前田利家公が天正11年(1583)6月14日に金沢城に入城し、金沢の礎を築いた偉業を偲んで開催されます。前田利家公が祀られている尾山神社での「封国祭」に合わせて、大正12年から昭和20年まで金沢市祭として行われてきた奉祝行事がルーツで、終戦後は進駐軍の指導により昭和21年から6年間、「尾山まつり」として尾山神社奉賛会によって開催されました。

現在の金沢百万石まつりは、昭和27年に金沢市と金沢商工会議所が中心となって開催した「商工まつり」が第1回目となり、その後、豪華絢爛な百万石行列をはじめ、400年にわたり受け継がれてきた金沢ならではの伝統ある行事が賑やかに繰り広げられる現在の姿に発展しました。

昭和 59 年(第 33 回) に初めて、百万石行列の主役である利家役に俳優を起用して以降、全国に発信できる初夏の一大イベントに発展しました。

残念ながら、去年、一昨年とコロナ禍の中での開催は中止となりましたが、今年こそは開催できます様に願っております。  
ちなみに、今年の利家公役は俳優の竹中直人さんで、おまつの方役は女優の栗山千明さんです。

メインイベントの百万石行列は 6 月 4 日の土曜日に開催されます。皆様方には、この際には是非とも金沢にいらして、昼は百万石まつりを満喫していただき、夜は美味しい加賀料理を堪能していただければ幸いです。まずは、コロナウイルス感染第 7 波が到達しないように願っております。